

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年5月15日

事業所名 放課後等デイサービス Sunny Kids (重心)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者に合わせてその都度整理整頓、物品の移動を行いスペース確保に努めている。	安全に過ごせるようにスペース確保の徹底に努めていく。
	2	職員の配置数は適切である	○		人員配置基準は満たしている。	デイ利用人数・状態に合わせ職員の増加、人材確保を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		出入口、室内にスロープ設置、トイレ等にも手すりを設備している。	定期的に設備点検を行い不備が生じる場合はその都度改善を行い過ごしやすいつloorになるように配慮していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員間で意見を出し合い業務改善・環境改善を行っている。	引き続きPDCAサイクルを活用し業務改善・環境改善を行っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果をもとに職員間で話し合いや意見を述べ合い業務改善を行っている。	今後も保護者様のアンケート意見を取り入れ、業務改善に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ上で報告、個々に配布物としてお配りしている。	ホームページが完成したこともあり、ホームページ上にて結果報告していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価などの実施はできていない。今後第三者による評価を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修は専門職種に応じて参加している。内部研修も月1回テーマ別に行っている。	今後も外部研修に参加していき内部研修も職員が行ってほしいテーマを聞き入れ取り入れていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントシートをベースに日々の様子や保護者様の意見を踏まえ計画書を作成している。	今後も保護者様と情報交換や意見交換を行い職員間で話し合い計画書を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを盛り込んだ利用調査票を使用している。	必要に応じてアセスメントシートの見直しを行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各職種の意見を出し合い立案している。	今後も各職種の職員と意見を出し合い立案していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		各職種職員の意見を取り入れ工夫している。	平日は利用時間も短く医療的ケア児も多い為固定化になりがちな所もあるのでできる限り活動を工夫してバリエーションを増やし取り組んでいく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		課題に対しきめ細やかな支援はできていません。個々の課題を考え時間に応じた支援が出来るように取り組んでいく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々の状況に応じ個別活動・集団活動を組み合わせている。	今後も個々の状況に応じた計画を作成し取り組んでいく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日の処置一覧表・送迎表を用いて支援の内容を確認している。	医療的ケア児が対象のデイなので今後も処置一覧表を用い職員間で統一した理解のもと取り組むようにしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後気になったこと等は職員間で話し合いを行い共有している。	今後も継続して支援終了後に気になったこと等を話し合い共有を行っていく。当日出勤者以外には連絡ノートや別紙書類にて共有できるようにしていく。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		利用時のデイでの様子は毎日個人日誌を作成し記入している。	引き続き記録をもとに職員間で話し合う機会を設け支援の検証改善に繋げていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に1度モニタリングを行い計画書の見直しを行っている。	今後も定期的にモニタリングを行っていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		創作活動・余暇の提供の組み合わせ支援を行っている。	今後も活動内容を組み合わせ支援を行っていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管・看護師・保育士が参加するようにしている。	今後も可能な限り児発管・看護師・保育士が担当者会議に参画し行っていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		事業所対象の学校見学会や説明会に参加している。	引き続き送迎時に先生方と情報交換を行い、学校のホームページを活用し情報収集を行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		保護者様を通じて期間が半年の医師の指示書を提出していただいている。	引き続き指示書の更新などがある場合は保護者様に案内していく。その際に主治医や病院の変更がないかの確認を行っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			今後児童の入所依頼があれば情報共有・相互理解に努めていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			支援学校高等部を卒業した生徒はいるが障害福祉サービス事業所等への情報共有ができていない。今後卒業生がいる場合は情報提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センター主催の研修は必要に応じて参加。交流会が年2回開催されるので案内が来た際には必ず参加している。	今後も児童発達センターより研修・交流会の案内があった際には積極的に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			重心児童が対象のデイなのでその日の体調のこともありなかなか交流の場を設ける事が出来ない。今後保護者様より希望などがあれば検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			参加できていないので、今後は情報収集の為できるだけ参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳を用いてデイでの様子を記載し送迎時にも直接保護者様に状況をお伝えしている。	引き続き連絡帳を用いてデイでの様子を記載し、送迎時にも直接保護者様にご自宅の様子などをお聞きし情報共有していく。気になることがあればその都度電話連絡を行っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			今後は専門的なペアレント・トレーニングを行えるよう研修に受講し理解に努めていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に重要事項説明書・契約書を用いて説明している。	今後も重要事項説明書・契約書を用いて説明していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があった際には適切に対応・助言が出来るように心掛けている。	今後も適切に対応・助言が出来るように知識・技術の向上を図るため外部研修の参加や内部研修を行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			今後保護者様の要望や意見を聞き取り組んでいけるよう考えていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情相談マニュアルを作成している。契約時の重要事項説明書にも記載し説明している。	今後も苦情があった際には迅速な対応を心掛けていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		個別に連絡を行い対応している。	ホームページが開設することもあり今後はホームページ上で掲載予定。
	35	個人情報に十分注意している	○		利用児や保護者様の情報は個々のファイルにまとめて鍵付きロッカーにて保存している。	今後も取り扱いには十分注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		方法としては電話・文章個人日誌の提示を用い情報伝達をしている。	今後も児童や保護者様に合わせた対応を心掛けていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			地域住民を招待すると言った取り組みはできていないので今後事業所の行事を行う際は近隣にチラシ配りを行い少しでも多く来ていただけるように取り組んでいく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	職員に対しては内部研修を実施し周知するように努めている。	保護者様には周知できていないので、今後ホームページなどを利用し周知して頂けるように取り組んでいく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年2回の避難訓練を実施している。非常災害に備え役割分担を決めている。	今後も災害に備え避難訓練を実施し迅速に非難が出来るように改善点を述べ合い取り組んでいく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	毎年、虐待に関する内部研修を実施。外部研修や大阪府から案内が来る「障がい者虐待防止・権利擁護」の研修にも必ず参加するようにしている。	今後も内部研修や外部研修に参加し事業所の虐待防止向上に努めていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在身体拘束を必要とする児童がいない。ので今後必要な際は十分に説明を行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	契約時にフェイスシートを用いて必要な情報を記入していただいている。	今後も食物アレルギーの把握に努めていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハットを作成している。	ヒヤリハットは作成していますが職員間で共有できていない部分があるので今後は共有できるように取り組んでいく。